

# 2020年3月期 第2四半期 決算説明会



2019年11月15日

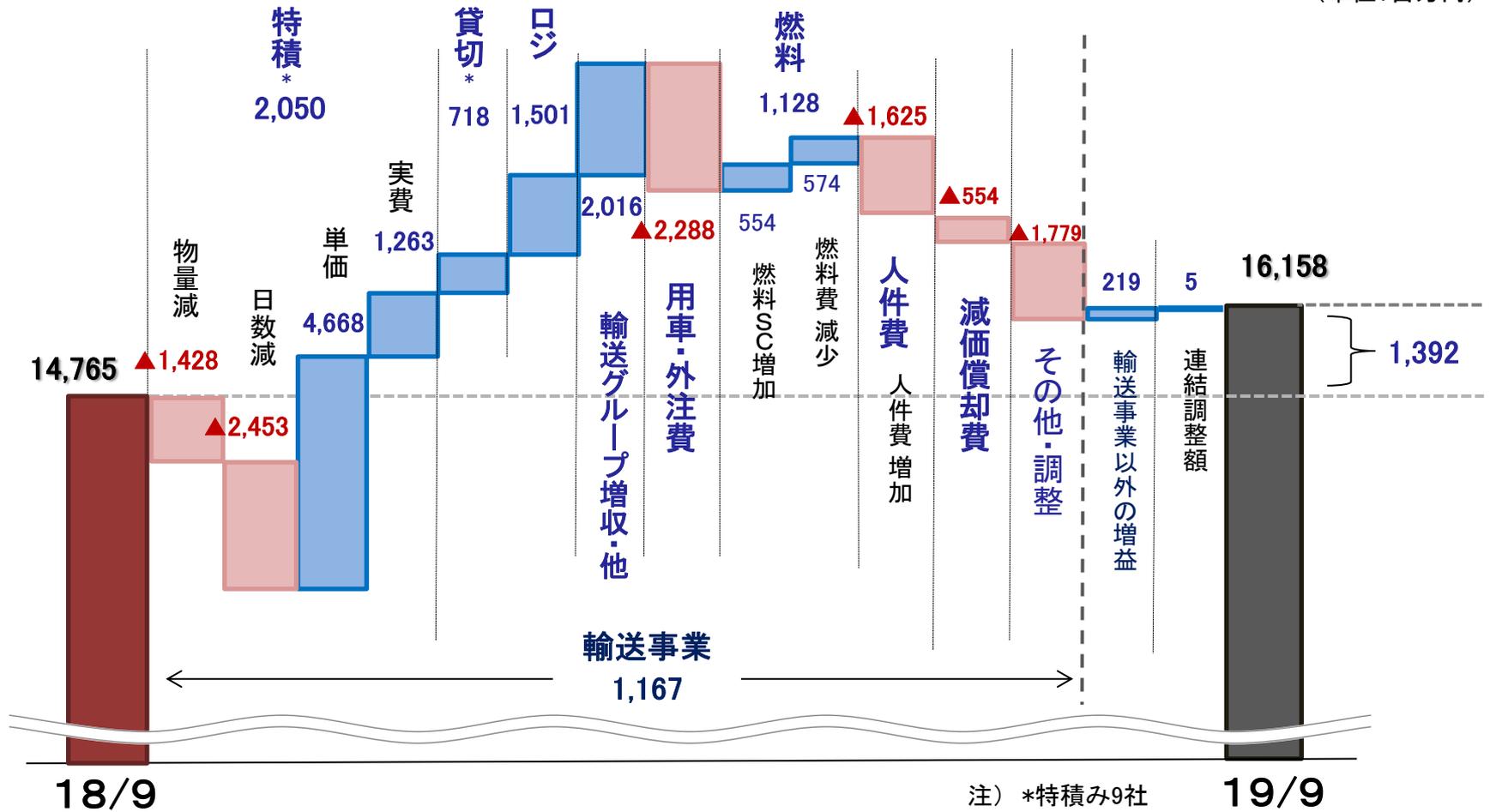
セイノーホールディングス株式会社  
(9076)

➤ 2020年3月期上期の実績	(P03～)
輸送事業	P05
自動車販売事業	P08
➤ 2020年3月期 業績予想	P09
➤ 中期経営計画	(P10～)
「バリューアップ チャレンジ 2020～成長へのテイクオフ～」	P10
輸送事業	P13
ロジスティクス事業	P16
国際	P17
O.P.P. 福山通運	P18
O.P.P. SGHD	P19
オープンイノベーション	P20
物品販売	P21
人材戦略	P22
不動産戦略	P23
拠点投資計画	P24
安全	P25



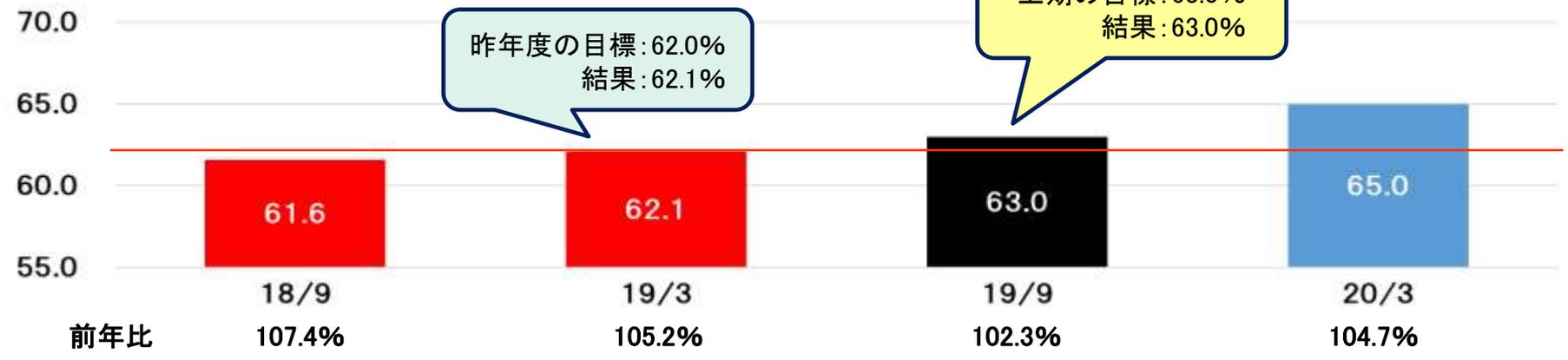
## 利益創出の主要要因

(単位:百万円)

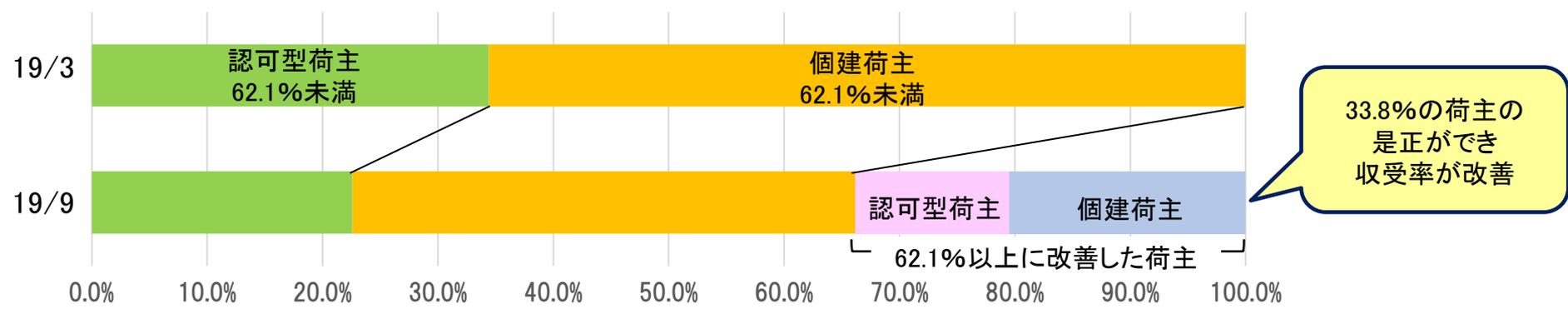


## 運賃政策について

**運賃收受率目標** (10年タリフ換算) ※対象:西濃運輸 一般便



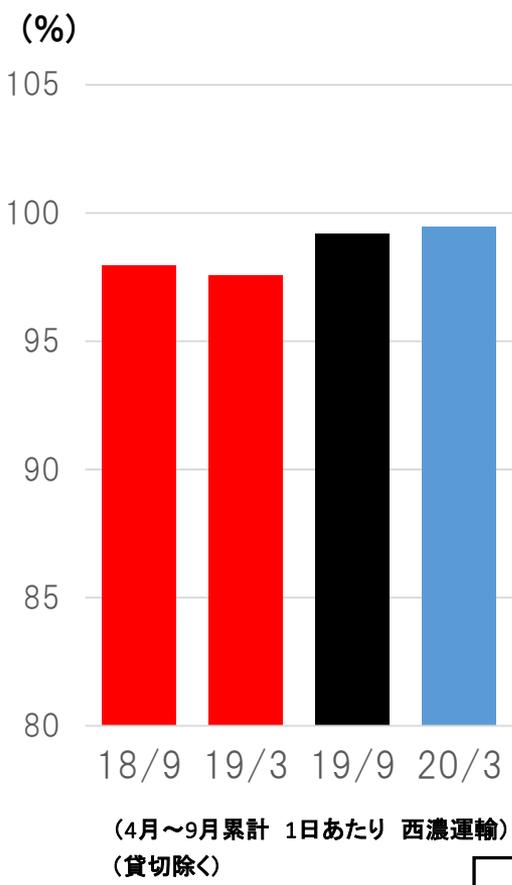
**今年度適正運賃未收受荷主分布** (運賃收受率62.1%未満の荷主)



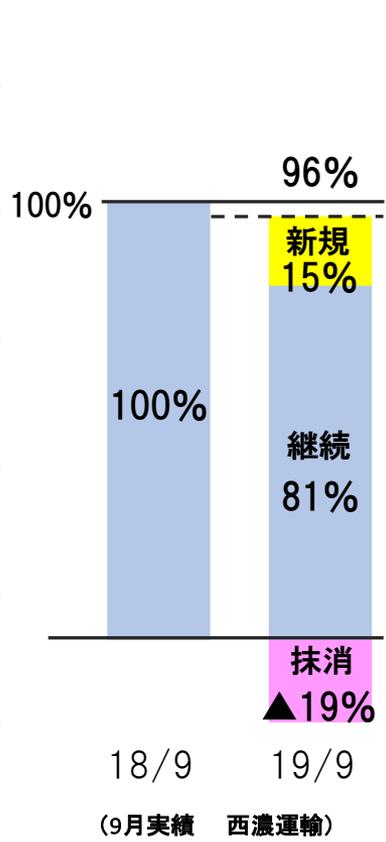
■ 運賃收受率が102.3%伸長したが、伸びしろは残っている

## 物量に関する営業政策

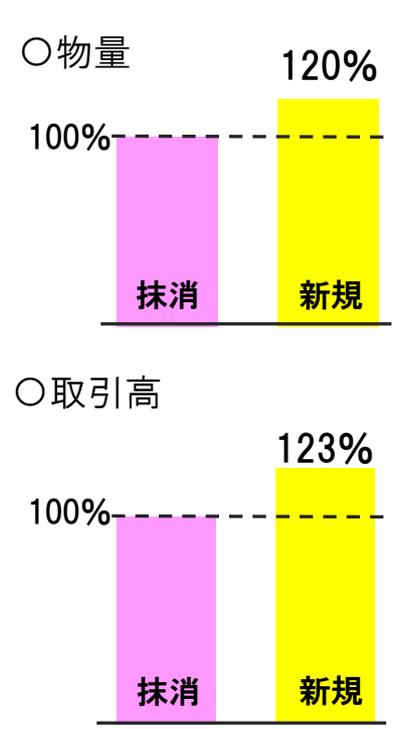
物量推移(前年比)



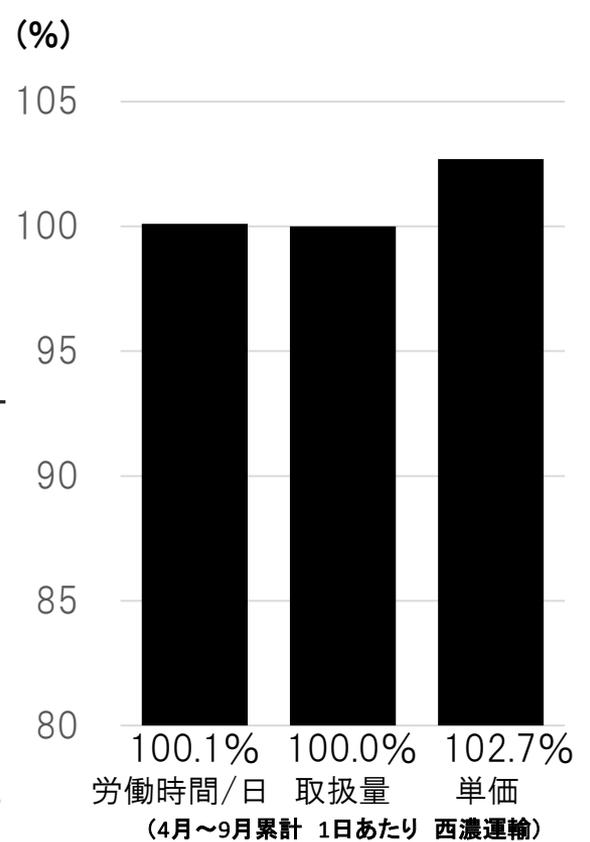
荷主件数(前年比)



新規・抹消荷主の物量・取引高比較



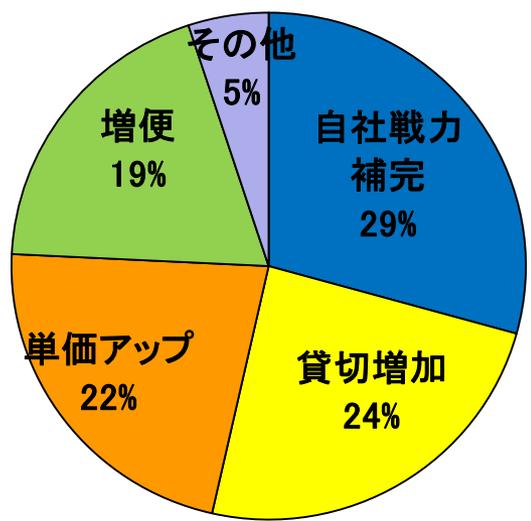
SD時間当たり生産性(前年比)



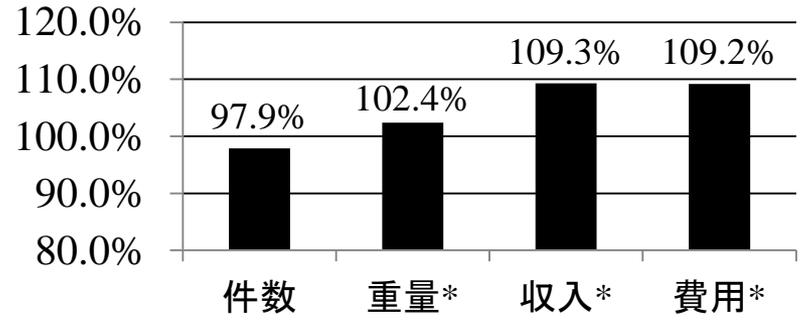
■ 個人宛商品の減少・自然災害などにより物量が減少した

## 用車料のコントロール

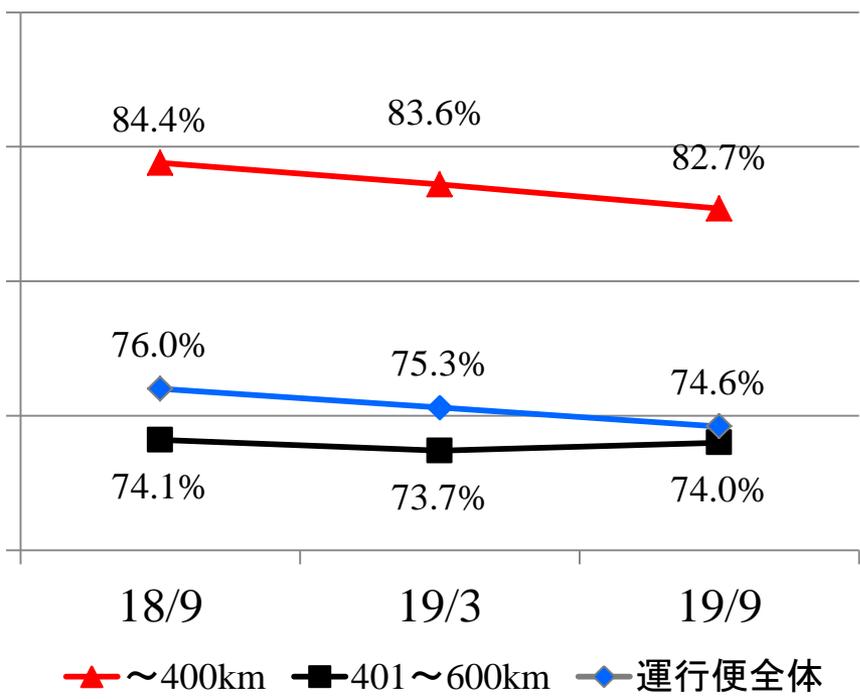
用車料増加の内訳



貸切実績前年比



運行便自社化率 (西濃運輸)



## 地域ナンバー“ワン”への挑戦

### トヨタ・日野事業

#### トヨタ事業

・新型車効果もあり新車販売台数増

2019年9月期	実績	前年比
新車販売台数	10,475台	109%

#### 日野事業

・トラック・バス新車販売台数増

2019年9月期	実績	前年比
新車販売台数	1,911台	107%

・岐阜日野

本社整備工場改築 冷暖房完備  
作業の効率化によりES向上  
メカニックの採用・定着促進

### 自動車整備ネットワーク

#### 東京車輛・ユニクラ自工

2019年9月期	実績	前年比
売上高	318百万円	115%

・整備工場改築により売上増  
改築による作業の効率化と  
メカニックの採用・定着促進



### 海外(フィリピン)

#### SUBIC GS AUTO INC

サービス・パーツ実績

2019年6月期	実績	前年比
売上高	101百万円	172%

販売台数減少も保有台数増加により  
サービス・パーツ売上増  
・冷凍機の取付け販売・修理増  
・ボディ架装工場の稼働率向上

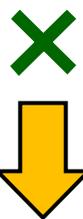




## 持続的成長の実現

# バリューアップ チャレンジ2020 ～成長へのテイクオフ～ 2017年4月～2020年3月

第2次 総合物流商社の完成



オープン・パブリック・プラットフォーム(O.P.P.)の構築

お客様が享受できるもの

- ◆ セールスアップ(販路・商機・商圈拡大)
- ◆ コストダウン(固定費圧縮、変動費化)
- ◆ プロフィットアップ(生産性・効率性向上)
- ◆ バリューアップ(社会的存在意義向上)

国家社会への貢献 = お客様の繁栄

# 日本の社会的課題：人口減少は避けられない

## 日本の効率をアップする

強みの差別化

価値の最大化

イノベーション・創出

安全・環境・CSR

- 国内人口の減少
- 少子高齢化による若年労働力不足
- 都市部への人口集中(地域間格差の拡大)

- 国内貨物輸送量の減少
- 社会構造、消費、流行の変化
- グローバル・ボーダーレス化
- 情報通信による産業変革
- 企業の物流コスト削減

- 安全の確保
- 現実味を帯びる資源の有限性
- 環境保護(環境適応対策)

- 既存ビジネスの成長、効率化、業容拡大
- 新たなビジネスモデルの創出
- シェアリング、マッチングによる業態変革
- 作業機能の効率提供による価値の明確化

環境：E(社会の環境負荷軽減)  
 社会：S(社会的課題の解決)  
 安全：G(社会的ロスの削減)

**ESG**

**SDGs**

事業基盤の拡大  
 人的資源確保、人材価値・能力向上  
 地球環境、社会貢献  
 ステークホルダーが参画する経営

# SDGsによる目指すべき方向性



## 運び方改革による効率化

地球環境、社会貢献

人的資源確保、  
人材価値・能力向上

隊列走行を見据えた連結運行

自社連結運行



2018年3月 片道運行開始(小牧 ⇒ 藤枝)  
2018年7月 往復運行開始(小牧 ⇄ 藤枝)

連結共同運行



2019年4月 4社によるダブル連結トラックの共同運行開始  
2019年10月 国土交通省の  
「貨客輸送連携省エネルギー計画」に認定

隊列走行

2021年 ~ 有人隊列運行事業化計画  
2022年 ~ 無人隊列運行事業化計画

## 鉄道・船へのモーダルシフト

事業基盤の拡大

地球環境、社会貢献

2030年 日本の温室効果ガス削減目標 26%減 (2013年比)  
走行距離600km以上の運行便を鉄道・フェリーにモーダルシフト

### モーダルシフト

2019年6月から  
有明港(東京)⇒苅田港(福岡)を開始



- 2019年9月期において  
フェリー便を2便、ライナー便を8便増やし  
89便のモーダルシフト化を実施
- CO2排出量26%削減に向けて  
関東 ⇔ 山陽  
東海 ⇔ 九州  
特に走行距離が長いトラック便の  
モーダルシフト化を優先的に実施

CO2削減量: 13, 229トン/年  
年間排出量の 10%相当 (西濃運輸)

## ITによるCS、ESの向上

事業基盤の拡大

人的資源確保、人材価値・能力向上

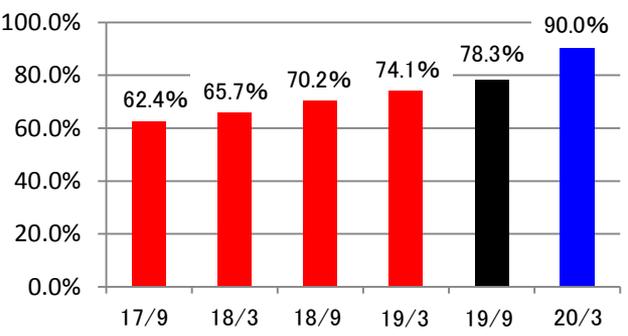
お客様の作業と当社の業務効率化

CS向上  
配達時間メールサービス

ES向上  
カンナビ

EDI化率向上  
⇒ CS向上、ES向上

BtoB取引のEDI化率



- CS効果  
いつ届くか可視化する事により、お客様の次工程に繋がられ安心を与えられる
- ES効果  
在宅時に配達でき効率向上

第1 STEP 9/9~住所を手打ちしなくても、送り状No.を入力すれば、地図表示可能。初めての場所でも簡単に検索でき配達効率向上



- 将来構想  
AIによる自動ルート組み配達ナビを構築し、誰でも配達できる環境を整備

## ロジ・トランス機能の拡大

事業基盤の拡大

地球環境、社会貢献

### 輸送を創造するロジスティクスの拡大

当社拠点にお客様のロジスティクス機能を集約  
⇒社会全体の効率化・軽減化を実現

2019年3月期  
44,014百万円



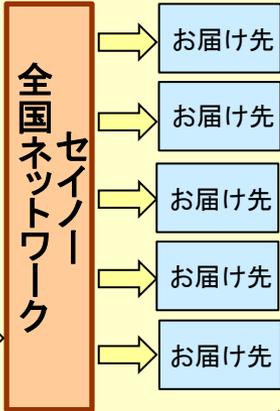
2020年3月期(第2四半期)  
23,693百万円(110%)



2020年3月期見通し  
49,000百万円(111%)

#### 特積み輸送の創造につながるロジスティクス事業

<成田支店>



#### <2020年3月期>

2019年 6月 成田支店(2F流通倉庫:1,200坪)  
10月 大森支店隣接倉庫(800坪)

⇒ 保管スペース 17万5千坪へ

#### <2023年3月期まで>

首都圏 3拠点、中部 2拠点、関西 2拠点

⇒ 保管スペース 21万坪以上

2023年3月期 64,000百万円を目指す

# 日系企業の海外流通サポート

事業基盤の拡大

アジア進出日系企業へ物流ネットワークを提供

## 上期の取り組み

- タイの合弁企業で日系電機メーカー向けのロジスティクス案件スタート  
→ 阪急阪神エクスプレスとの提携効果
- 新開トランスポートシステムズとの業務提携  
→ お客様に 更なる機能、利便性を提供



## 阪急阪神エクスプレスとの協業

- 倉庫ロジスティクス  
→ 協業のシンボル成田支店がオープン  
→ 空港直結の保税倉庫が稼働開始
- 国内輸配送  
→ ワンストップで集荷を効率化する  
マネジメントセンターが稼働
- 海外  
→ 東南アジア合弁企業に  
フォワーディング機能実装



## お互いの補完によるCSとESの向上

<b>セイノーHD</b> 680 拠点 26,887 人 25,527 台	<b>福山通運</b> 394 拠点 24,434 人 16,138 台
---	---



<b>インタンク</b> 166ヶ所	<b>インタンク</b> 215ヶ所
-----------------------	-----------------------



※ 国内輸配送関係のみ  
 ※ 2019年9月30日現在

### 近隣ペア店での推進

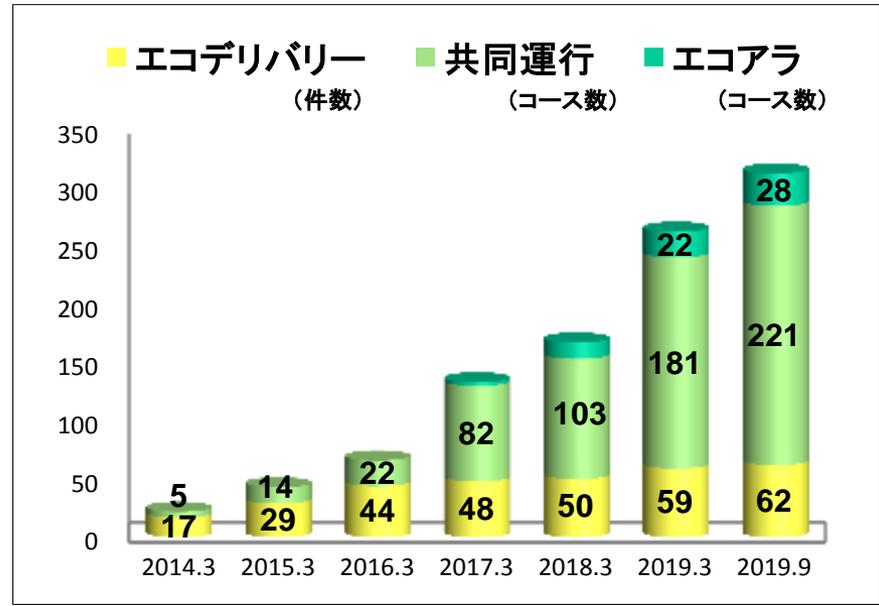
- **エコデリバリー(共同一括配送サービス)**
  - ・ 配達物量増加荷主への荷待ち時間削減
- **共同運行による幹線輸送の効率化**
  - ・ 横持ち、回送をなくしたダイレクト運行での対応

### 企業間防災協定

- ・ 被災状況確認、相互協力
- ・ 防災訓練の共同実施

### 社会奉仕活動

- **共同購入・仕入れ・販売**
- **車両事故防止教育活動**
  - ・ 入社歴の浅いSD(新人)への基本動作習慣づけ
  - ・ 交差点右左折時の衝突、巻き込み事故防止



## 業務連携による社会的課題(人手不足)解決

### トライアルフェーズ

- 両社の連携によるオペレーション、効果創出ポテンシャルの確認等を目的としたトライアル実施
  - ・ 幹線輸送の共同運行
  - ・ 地方における共同配送
- ワーキングチーム(分科会)での検討

### 次期フェーズ

- トライアルの水平展開、課題対応
- 新たな取り組み
  - ・ 年末繁忙期対応
  - ・ 拠点の相互利用
  - ・ 第二インフラ(重量物、大量ロット等)の融合



### 青森県下北郡における共同配送の取組み

#### Before

集積度の関係から相対的に生産性が低く、全国ネットワークを維持するうえで効率化が必要

#### <佐川急便>



#### <西濃運輸>



#### After

両社の配達先の多くが重複しており、共同配送により生産性向上

#### <佐川急便>



#### <西濃運輸>



・ ドライバーの生産性向上  
 ・ リードタイムの改善  
 ⇒ 効率的なネットワークの維持

## オープンイノベーションの推進

### 新規事業開発

#### 新規ベンチャーファンド出資

- “未来創生2号ファンド(スパークスグループ)”へ出資
- 1号ファンドの投資対象領域である「AI」、「ロボティクス」、「水素技術」分野に加え、新たに「電動化」「新素材」を加えた5分野のベンチャー企業へ投資
- 5分野における新規事業シナジーを目指す



#### ベンチャーキャピタルとの共創

- 株式会社サムライインキュベート支援の下、新たな物流・新領域事業の創出を目指す「REBIRTH Logistics BootCamp」を開催
- 物流アセットを活用した新規事業の創出や、テクノロジーを掛け合わせて未来の物流の実現を目指す
- 2019年11月20日(水)より開催
- 2019年10月10日(木)より参加者募集

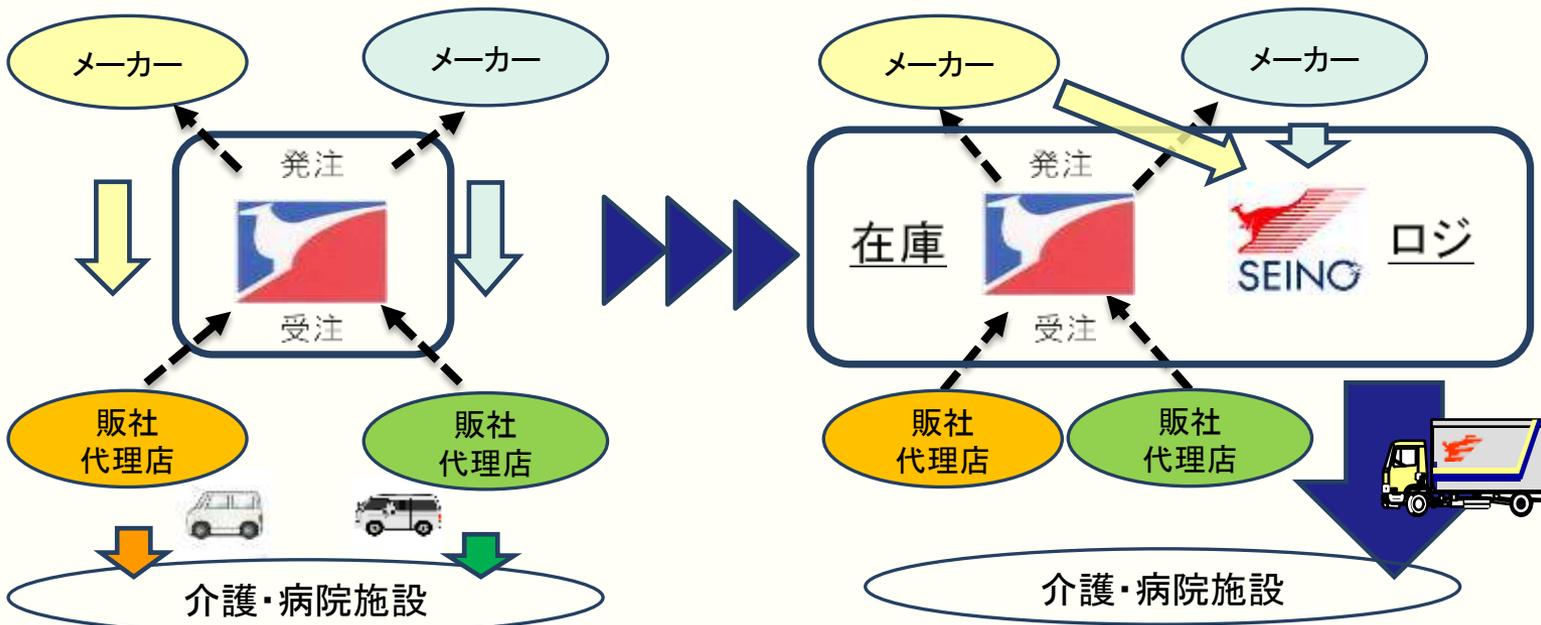


## メーカーとバイヤーをつなぐ「企画商社」

事業基盤の拡大

購入したくなる商品づくりと販路拡大

- 介護関連事業における業務用家庭紙等、小口、一括納品への取り組み
- ステップ2:エリアの拡大 ○ステップ3:介護関連商材(取扱い品目)の拡大



## 人的資源確保・人材価値向上と、労働人口減少下における価値提供

人的資源確保、  
人材価値・能力向上

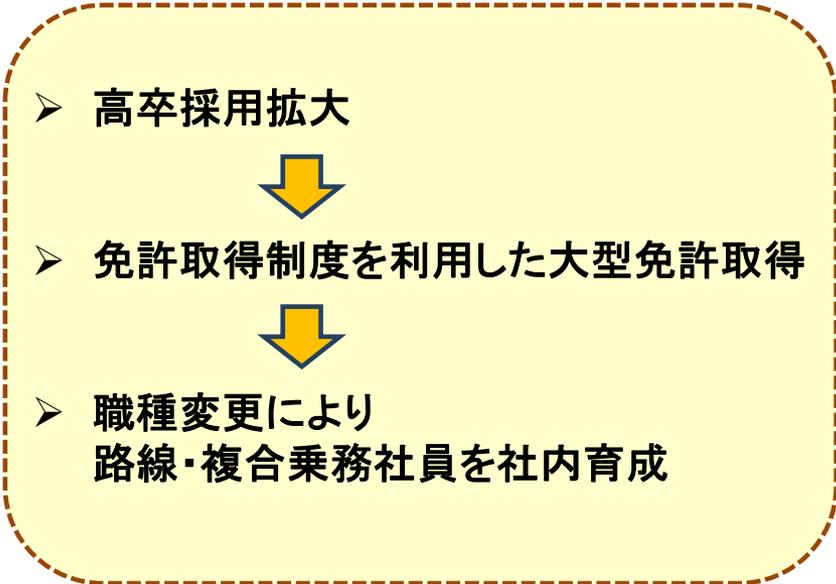
夢と希望と誇りを感じられる企業を目指す

地球環境、社会貢献

(単位: %)

ドライバー 充足率	2019年3月期		2020年3月期	
	18/9	19/3	19/9	20/3
目標	97	98	98	98
実績	96.5	96.5	97.6	-

- 高齢ドライバー待遇改善
- 福利厚生制度の拡充  
(選択型確定拠出年金制度の導入)



(単位: 人)

高卒採用数	2017年4月	2018年4月	2019年4月
連結	100	131	238
内 西濃運輸	70	91	189

(単位: 人)

免許取得制度	17/3	18/3	19/3	19/9
大型免許 (西濃運輸実績)	32	119	95	67

(単位: 人)

職種変更	17/3	18/3	19/3	19/9
路線・複合 (西濃運輸実績)	36	44	87	25



# 拠点投資計画

## ロジ・トランス施設 13拠点 61,923百万円

- 深川支店 着工 2021年 2月 竣工予定
- 龍ヶ崎支店(仮称) 着工予定(2020年12月) 2022年 1月 竣工予定
- 5拠点 計画中 2022年以降 竣工予定
- 2拠点 企画中 2022年以降 竣工予定
- 4拠点 用地交渉中 2022年以降 竣工予定

## 既存施設の改修 11拠点 7,202百万円

- 5拠点 企画中 2021年以降 竣工予定
- 3拠点 企画中 2022年以降 竣工予定
- 3拠点 企画中 2023年以降 竣工予定

## 賃貸マンション施設 2物件 3,021百万円

- 浜町マンション 着工 2021年 2月 竣工予定
- 芝浦マンション 着工 2021年 9月 竣工予定

## 収益不動産 5物件 23,000百万円

- 日本橋浜町ビル 契約済 2020年 1月 取得予定
- 4物件 計画中 2021年 3月 取得予定

## 投資総額 95,146百万円

## 安全・安心な交通社会の実現

地球環境、社会貢献

必要な運転技能、点検技術の更なる向上

### 安全推進インストラクターによる指導



全国ドライバーコンテスト  
2019年10月 出場者  
**32人**  
(全出場者の21%)

- ドライブレコーダーによる安全運転検証
- 事故を発生させない運転技能習得
- 法規走行、点検技術、関係法令の知識を伝授
- エコ安全ドライブによる燃費改善
- ドラコン手法による安全指導の推進



#### 西濃自動車学校にて

- ・学卒新入社員研修
- ・リーダー・サブリーダー研修
- ・チーフマネージャー研修
- ・安全推進インストラクター研修
- ・SHDドラコン特別研修

**業界1位**

「エコ運転」＝「安全運転」

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## お問い合わせ先

セイノーホールディングス株式会社

財務IR部

〒503-8501 岐阜県大垣市田口町1番地

TEL:0584-82-5023 FAX:0584-82-5045

<http://www.seino.co.jp/seino/shd/>

E-mail: [i.r@seino.co.jp](mailto:i.r@seino.co.jp)

# 2020年3月期第2四半期 決算説明会補足資料

## 業績概要

2020年11月15日

セイノーホールディングス株式会社

## 1. 主要な経営指標等の推移

決算期	単位	2017年9月期	2018年3月期	2018年9月期	2019年3月期	2019年9月期
売上高	百万円	290,205	596,130	302,282	618,436	315,342
営業利益	百万円	12,767	27,879	14,765	31,209	16,158
営業利益率	%	4.4	4.7	4.9	5.0	5.1
経常利益	百万円	12,932	29,120	15,860	33,629	16,903
経常利益率	%	4.5	4.9	5.2	5.4	5.4
親会社株主に帰属する当期純利益	百万円	8,876	20,046	10,487	21,216	21,161
自己資本利益率（ROE）	%	-	5.2	-	5.2	-
純資産額	百万円	390,309	405,739	420,396	426,207	440,327
総資産額	百万円	607,567	628,728	639,086	657,983	662,307
総資産利益率（ROA）	%	-	3.3	-	3.3	-
自己資本比率	%	63.2	63.4	64.7	63.8	65.5
総資産経常利益率	%	-	4.8	-	5.2	-
1株当たり純資産額（BPS）	円	1,954.17	1,998.90	2,029.77	2,057.98	2,141.44
有利子負債対自己資本比率	%	4.9	4.9	4.8	6.0	5.4
株価純資産倍率（PBR）	倍	0.81	0.98	0.85	0.72	0.63
1株あたり当期純利益（EPS）	円	45.2	101.88	52.15	104.85	103.93
株価収益率（PER）	倍	-	19.2	-	14.1	-
営業活動によるキャッシュフロー	百万円	19,616	41,286	22,455	48,008	9,673
投資活動によるキャッシュフロー	百万円	△ 8,895	△ 26,271	△ 15,606	△ 22,530	2,903
財務活動によるキャッシュフロー	百万円	△ 3,964	△ 7,180	△ 4,320	△ 7,193	△ 8,353
現金及び現金同等物の期末残高	百万円	79,121	80,214	82,695	98,462	102,698
従業員数	名	27,953	28,006	28,379	28,539	29,106

## 2. 決算概要推移

(単位:百万円、%)

科 目	2017年9月期				2018年9月期				2019年9月期			
	金額	構成比	前年増減額	増減率	金額	構成比	前年増減額	増減率	金額	構成比	前年増減額	増減率
売 上 高	290,205	100.0	14,284	5.2	302,282	100.0	12,076	4.2	315,342	104.3	13,059	4.3
輸 送 事 業	215,088	74.1	9,047	4.4	225,752	74.7	10,664	5.0	232,592	76.9	6,839	3.0
自動車販売事業	51,405	17.7	2,194	4.5	50,210	16.6	△ 1,194	△ 2.3	55,084	18.2	4,873	9.7
物品販売事業	15,031	5.2	2,066	15.9	16,555	5.5	1,524	10.1	16,221	5.4	△ 333	△ 2.0
不動産賃貸事業	797	0.3	43	5.8	825	0.3	28	3.6	838	0.3	13	1.6
そ の 他	7,883	2.7	932	13.4	8,937	2.9	1,054	13.4	10,604	3.5	1,667	18.7
営 業 費 用	277,437	95.6	14,042	5.3	287,516	95.1	10,078	3.6	299,183	99.0	11,667	4.1
人 件 費	99,320	34.2	2,771	2.9	102,791	34.0	3,470	3.5	105,421	34.9	2,629	2.6
燃 料 費	7,263	2.5	813	12.6	8,610	2.8	1,347	18.5	8,043	2.7	△ 566	△ 6.6
減 価 償 却 費	8,411	2.9	219	2.7	8,955	3.0	543	6.5	9,631	3.2	676	7.6
備車料・取扱手数料 外注費	81,745	28.2	4,806	6.2	85,241	28.2	3,495	4.3	87,529	29.0	2,288	2.7
通 行 料	3,998	1.4	8	0.2	3,994	1.3	△ 3	△ 0.1	3,960	1.3	△ 33	△ 0.8
そ の 他	76,697	26.4	5,423	7.6	77,923	25.8	1,226	1.6	84,597	28.0	6,673	8.6
営 業 利 益	12,767	4.4	241	1.9	14,765	4.9	1,997	15.6	16,158	5.3	1,392	9.4
営業外収益	977	0.3	△ 81	△ 7.7	1,257	0.4	279	28.6	1,044	0.3	△ 213	△ 16.9
営業外費用	812	0.3	644	382.4	162	0.1	△ 649	△ 80.0	298	0.1	135	83.4
経 常 利 益	12,932	4.5	△ 484	△ 3.6	15,860	5.2	2,927	22.6	16,903	5.6	1,043	6.6

3. セグメント別営業費用比較

(単位:百万円、%)

営業費用	2017年9月期			2018年9月期			2019年9月期		
	金額	前年増減額	増減率	金額	前年増減額	増減率	金額	前年増減額	増減率
輸送事業									
人件費	88,757	2,323	2.7	91,814	3,056	3.4	93,439	1,625	1.8
燃料費	7,101	790	12.5	8,434	1,332	18.8	7,860	△ 574	△ 6.8
減価償却費	7,418	148	2.0	8,016	597	8.1	8,570	554	6.9
備車料・取扱手数料	81,745	4,806	6.2	85,241	3,495	4.3	87,529	2,288	2.7
外注費	3,998	8	0.2	3,994	△ 3	△ 0.1	3,960	△ 33	△ 0.8
その他	18,268	747	4.3	18,145	△ 123	△ 0.7	20,047	1,902	10.5
小計	207,291	8,825	4.4	215,646	8,354	4.0	221,408	5,762	2.7
自動車販売									
人件費	6,371	31	0.5	6,270	△ 100	△ 1.6	6,468	198	3.2
燃料費	103	4	4.1	117	13	13.2	105	△ 11	△ 10.0
減価償却費	923	53	6.2	814	△ 108	△ 11.8	877	62	7.7
その他	46,347	2,326	5.3	47,121	773	1.7	50,715	3,594	7.6
小計	53,745	2,416	4.7	54,323	577	1.1	58,167	3,843	7.1
物品販売									
人件費	728	30	4.4	706	△ 22	△ 3.0	744	37	5.4
燃料費	2	△ 0	10.2	3	△ 0	10.8	3	△ 0	△ 6.5
減価償却費	20	0	△ 2.5	23	3	16.3	27	4	18.6
その他	23,492	2,540	12.1	26,058	2,566	10.9	24,240	△ 1,818	△ 7.0
小計	24,244	2,570	11.9	26,792	2,547	10.5	25,015	△ 1,776	△ 6.6
不動産賃貸									
減価償却費	26	1	5.2	41	15	57.2	38	△ 3	△ 7.4
その他	157	66	73.3	118	△ 39	△ 24.8	122	3	3.3
小計	184	67	58.5	160	△ 23	△ 12.9	161	0	0.5
その他									
人件費	3,903	344	9.7	4,203	299	7.7	4,770	567	13.5
燃料費	54	18	52.0	54	0	0.7	73	19	35.0
減価償却費	191	18	11.0	242	50	26.4	317	74	30.9
その他	10,707	3,114	41.0	12,862	2,155	20.1	15,713	2,850	22.2
小計	14,856	3,496	30.8	17,362	2,505	16.9	20,875	3,512	20.2
調整額									
人件費	△ 439	41	-	△ 203	236	-	△ 2	200	-
減価償却費	△ 168	△ 2	-	△ 182	△ 13	-	△ 198	△ 16	-
その他	△ 22,276	△ 3,372	-	△ 26,382	△ 4,106	-	△ 26,243	139	-
小計	△ 22,884	△ 3,332	-	△ 26,768	△ 3,883	-	△ 26,444	323	-
営業費用合計									
人件費	99,320	2,771	2.9	102,791	3,470	3.5	105,421	2,629	2.6
燃料費	7,263	813	12.6	8,610	1,347	18.5	8,043	△ 566	△ 6.6
減価償却費	8,411	219	2.7	8,955	543	6.5	9,631	676	7.6
備車料・取扱手数料	81,745	4,806	6.2	85,241	3,495	4.3	87,529	2,288	2.7
外注費	3,998	8	0.2	3,994	△ 3	△ 0.1	3,960	△ 33	△ 0.8
その他	76,697	5,423	7.6	77,923	1,226	1.6	84,597	6,673	8.6
合計	277,437	14,042	5.3	287,516	10,078	3.6	299,183	11,667	4.1

#### 4. 従業員の推移

(単位:名、%)

輸送事業	2017年9月期	前年対比		2018年9月期	前年対比		2019年9月期	前年対比		
		増減	増減率		増減	増減率		増減	増減率	
管 理 職	1,777	33	1.9	1,826	49	2.8	1,877	51	2.8	
非 管理 職	乗 務 社 員	16,623	△ 9	△0.1	16,766	143	0.9	16,918	152	0.9
	非 乗 務 社 員	6,597	93	1.4	6,768	171	2.6	7,217	449	6.6
	非 管 理 職 計	23,220	84	0.4	23,534	314	1.4	24,135	601	2.6
計	24,997	117	0.5	25,360	363	1.5	26,012	652	2.6	

自動車販売事業	2017年9月期	前年対比		2018年9月期	前年対比		2019年9月期	前年対比	
		増減	増減率		増減	増減率		増減	増減率
管 理 職	379	11	3.0	381	2	0.5	377	△ 4	△1.0
非 管 理 職	1,498	15	1.0	1,528	30	2.0	1,539	11	0.7
計	1,877	26	1.4	1,909	32	1.7	1,916	7	0.4

物品販売事業	2017年9月期	前年対比		2018年9月期	前年対比		2019年9月期	前年対比	
		増減	増減率		増減	増減率		増減	増減率
管 理 職	50	6	13.6	51	1	2.0	51	0	0.0
非 管 理 職	159	△ 6	△3.6	151	△ 8	△5.0	155	4	2.6
計	209	0	0.0	202	△ 7	△3.3	206	4	2.0

そ の 他	2017年9月期	前年対比		2018年9月期	前年対比		2019年9月期	前年対比	
		増減	増減率		増減	増減率		増減	増減率
管 理 職	191	12	6.7	212	21	11.0	247	35	16.5
非 管 理 職	679	50	7.9	696	17	2.5	725	29	4.2
計	870	62	7.7	908	38	4.4	972	64	7.0

合 計	2017年9月期	前年対比		2018年9月期	前年対比		2019年9月期	前年対比	
		増減	増減率		増減	増減率		増減	増減率
管 理 職	2,397	62	2.7	2,470	73	3.0	2,552	82	3.3
非 管 理 職	25,556	143	0.6	25,909	353	1.4	26,554	645	2.5
合 計	27,953	205	0.7	28,379	426	1.5	29,106	727	2.6

※ 集計数値は正社員を対象にしております。

## 5. 車両の状況

### 保有営業車両の状況（輸送事業）

（単位：台）

区分		2017年9月期		2018年9月期		2019年9月期	
		台数	対前年比	台数	対前年比	台数	対前年比
大型車		6,525	36	6,604	79	6,663	59
	ヘッド	329	2	324	△ 5	321	△ 3
	シャーシ	454	△ 3	441	△ 13	434	△ 7
中型車		11,766	0	11,738	△ 28	11,712	△ 26
小型車		1,489	29	1,524	35	1,577	53
軽自動車		650	32	894	244	935	41
その他		3,120	23	3,202	82	3,278	76
合計		24,333	119	24,727	394	24,920	193